

様式第10号(第6条関係)



令和7年4月14日

南相馬市議会議長

会派名 無会派（公明党南相馬市議団）

代表者名 志賀 稔宗

令和6年度政務活動費収支報告書

南相馬市議会政務活動費の交付に関する条例第7条第1項の規定に基づき、別紙のとおり、令和6年度政務活動費収支報告書を提出します。

別紙

令和 6 年度政務活動費収支報告書

会派名 無会派（公明党南相馬市議団）志賀 稔宗

1 収入

（単位：円）

項 目	金 額	備 考
政 務 活 動 費	240,000	
預 金 利 子	0	
会 派 負 担 金	0	
合 計	240,000	

2 支出

（単位：円）

項 目	金 額	備 考
調査研究費	153,152	
研修費		
広報費	41,400	
広聴費		
要請・陳情活動費	15,440	
会議費		
資料作成費		
資料購入費	20,900	
人件費		
事務所費		
合 計	230,892	

（注） 1 備考欄には、主たる支出の内訳を記載すること。

2 会計帳簿の写し及び領収書等の証拠書類の写しを添付すること。

3 残金 9,108 円

令和6年度 政務活動費 会計帳簿

会派名 無会派(公明党南相馬市議団) 志賀 稔宗

年月日			摘 要	収 入	支 出	残 高
6	4	30	政務活動費	240,000		240,000
6	5	7	資料購入費(住宅地図)		20,900	219,100
6	5	8	広報費(議会報告印刷代)		19,400	199,700
6	5	8	調査研究費(京都府木津川市、精華町)		70,102	129,598
6	8	2	要望活動(8/2 東京都千代田区 参議院議員会館)		15,440	114,158
6	12	4	広報費(議会報告印刷代)		22,000	92,158
7	2	13	調査研究費(福島県庁、東京都衆議院第一議員会館)		38,540	53,618
7	3	17	調査研究費(秋田県能代市【JAXA能代ロケット実験場】)		44,510	9,108
				240,000	230,892	9,108

政務活動費 令和6年度旅費領収明細表

無会派（公明党南相馬市議団）志賀 稔宗（単位 円）

支出内容		令和6年5月8日～10日（研修視察先：京都府木津川市、精華町）					
氏名	旅費内訳		その他	合計	受領印	摘要	領収書No.等
	運賃等	宿泊料					
志賀 稔宗	40,240	26,600		66,840		○鉄道運賃 40,240円 ○宿泊料 （5/8～10 京都府精華町・乙地方）13,300円 ×2泊⇒宿泊料は南相馬市職員等の旅費に関する条例・規則に基づき定額支給	
（お土産）			3,262	3,262			
計	40,240	26,600	3,262	70,102			

領収書等添付用紙

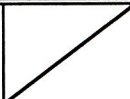
(単位:円)

支出項目	☒ 調査研究費 ☐ 研修費 ☐ 広報・公聴費 ☐ 要請・陳情活動費 ☐ 会議費 ☐ 資料作成・購入費 ☐ 人件費・事務所費
支出内容	調査研究(令和6年5月8日～10日 京都府木津川市、京都府精華町)に係る手土産代
支出月日	令和6年5月7日
支出額	3,262円

領 収 書	
志賀 稔宗 様 2024 年 5 月 7 日	
消費税 8% ¥292	金 額 ¥ 3 2 6 2
但し 菓子代	軽減税率対象
係 印	お菓子の里 (株) 松 月 堂
	本店工場 福島県南相馬市原町区南町1丁目75 TEL0244-23-3636
	原町桜井町店 ☎0244-24-1087 ☐ 相馬イオン店 ☎0244-35-3924 ☐
	横川 徳 明
登録番号 T8380001016000	

政務活動費 令和6年度旅費領収明細表

無会派（公明党南相馬市議団）志賀 稔宗（単位 円）

支出内容		令和6年8月2日（要望先：東京都千代田区 参議院議員会館）						
氏 名	旅 費 内 訳		その他	合 計	受領印	摘 要	領収書No.等	
	運 賃 等	宿 泊 料						
志賀 稔宗	15,440	—		15,440		①JR運賃 8/2往路（原ノ町駅⇒ 東京駅）7,720円 8/2復路（東京駅⇒ 原ノ町駅）7,720円		
				0				
				0				
計	15,440	0	0	15,440				

政務活動費 令和6年度旅費領収明細表

無会派（公明党南相馬市議団）志賀 稔宗（単位 円）

支出内容	令和7年2月13日～14日（研修視察先：福島県庁、東京都 衆議院第一議員会館）						
氏 名	旅 費 内 訳		その他	合 計	受領印	摘 要	領収書No.等
	運 賃 等	宿 泊 料					
志賀 稔宗	18,020	14,800		32,820		①JR運賃 2/13往路（福島駅⇒東京駅）8,910円 2/14復路（東京駅⇒福島駅）9,110円 ②宿泊料（東京都内：甲地方）14,800円×1泊 ⇒②宿泊料は、南相馬市職員等の旅費に関する条例・規則に基づき定額支給	
（お土産）			720	720		領収書添付 菓子折り6,480円（税込）の9分の1相当額	（友和会、尚友会との合同研修による費用按分）
（車賃）			3,100	3,100		走行距離124km（本市⇄福島市往復）×@25円＝3,100円	
（タクシー代） 2/13			1,087	1,087		2/13東京駅～宿泊場所まで 領収書添付 8分の1相当額（端数調整あり）	（友和会、尚友会との合同研修による費用按分）
（タクシー代） 2/14			425	425		2/14宿泊場所～議員会館まで 領収書添付 8分の1相当額（端数調整あり）	（友和会、尚友会との合同研修による費用按分）
（駐車場代）			388	388		領収書添付 3,500円9分の1相当額（端数調整あり）	（友和会、尚友会との合同研修による費用按分）
計	18,020	14,800	5,720	38,540			

領収書等添付用紙

(単位:円)

支出項目	☒ 調査研究費 ☐ 研修費 ☐ 広報・広聴費 ☐ 要請・陳情活動費 ☐ 会議費 ☐ 資料作成・購入費 ☐ 人件費・事務所費
支出内容	調査研究(令和7年2月13日~14日 福島県庁、東京都衆議院第一議員会館)に係る手土産代
支出月日	令和7年2月12日
支出額	720円(菓子折り6,480円の9分の1相当)

四季葉秀
亀屋

T2380003001583
福島県南相馬市原町区旭町3-29
TEL 0244-23-3531

2025年 2月12日(水)11:33 #000001
000001従業員1 8952

外8 長者ゆべし12個入り ¥6,000※
(3個 x @2,000)

小計 ¥6,000

(外税8%対象額 ¥6,000)

外税額 8% ¥480

買上点数 3点

合計 ¥6,480

お預り ¥10,000*

(内消費税等 ¥480)

お釣り ¥3,520

※は軽減税率対象商品です。



令和6年度 政務活動費 調査研究に係る自家用車利用証明書

車賃 25円/km(南相馬市職員等の旅費に関する条例第25条)

年月日	目的	発	目的地1 (所在地)	目的地2 (所在地)	目的地3 (所在地)	着	自家用車(25円/km)		運転手名	乗車人数	備考 (車両の所有者など)
							走行距離 km (整数、端数切捨)	算定額 (走行距離×25円)			
2025/2/13	視察研修 (南相馬市→福島市までの移動)	南相馬市	福島市			福島市	62km	1,550円	志賀 稔宗	1人	志賀 稔宗
2025/2/14	視察研修 (福島市→南相馬市までの移動)	福島市	南相馬市			南相馬市	62km	1,550円	志賀 稔宗	1人	志賀 稔宗
計							124km	3,100円			

研究研修費、調査旅費で支出する場合に記録するものです。
①その都度記録し、事務局へ一旦提出願います。
②収支報告書提出時に、会派名、証明者名を記載して一緒に添付願います。
③目的地が4以上の場合、2行に分けて記載してください。
④私的な用務が行程にある場合は、それに係る走行距離数は除いてください。

2025/2/14

上記のとおり相違ないことを証明します。

友和会、尚友会、無会派 志賀稔宗 合同研修

会派名	友和会	尚友会	無会派
代表者名	田中 一正	太田 淳一	志賀 稔宗
経理担当者名	菊池 洋一	山田 雅彦	志賀 稔宗

領収書等添付用紙

(単位:円)

支出項目	☒ 調査研究費 ☐ 会議費
	☐ 研修費 ☐ 資料作成・購入費
支出内容	☐ 広報・広聴費 ☐ 人件費・事務所費
	☐ 要請・陳情活動費
支出月日	令和7年2月13日
支出額	1,087円(タクシー代8,700円の8分の1相当)

領収書
 現・チ・ク・割引 No.0009
 日付 25年02月13日
 車番 05052 000
 メータ運賃 ¥2,400-
 合計 ¥2,400-
 内消費税等 ¥218-
 消費税率 10%
 上記の通り領収致しました

日本交通グループ
 すばる交通株式会社
 第一営業所
 登録番号:T3011801033894
 お忘れ物は、忘れ物検索サービスFindへ
 QRを読み込み、Lineからお問い合わせ
 その他お問い合わせは
 カスタマーサポートデスクへ
 TEL050-3173-9200
 平日9:00~17:00

領収書
 現金・カット・クーポン・割引 No.3748
 日付 2025年02月13日
 車番 5476
 運賃 ¥2900-
 合計 ¥2900-
 消費税率 10%
 上記の通り領収致しました

毎度ご乗車ありがとうございます。
DAIWA TAXI GROUP
 お忘れ物・お気付きの点は当社へ
株式会社 日幸
 登録番号:T4011801003748
 TEL 03-5672-2510
 カリフォルニア御用品は無線配車センター
 TEL 011-3563-5151

領収書
 現・チ・ク・割引 No.5835
 日付 25年02月13日
 車番 0607 000
 メータ運賃 ¥800円
 合計金額 ¥800円
 上記の通り領収致しました

消費税率 10%
 登録番号:T2011101023399
(株)グリーンキャブ世田谷
 157-0073
 世田谷区砦1-1-11
 お忘れ物は
 TEL 03-3417-2221
 ご意見、ご要望は
 TEL 03-3205-6622
 タクシーのご用命は
 TEL 03-3203-8181

領収書

2025年02月13日
 メータ運賃 ¥2,600円
 運賃料金計 ¥2,600円
 合計 ¥2,600円
 (税率10%)
 登録番号 T7810887085833
 カジット 決済 ¥2,600円
 毎度ご乗車ありがとうございます。
 上記金額正に領収致しました。

OHMOTO TAXI

ドア番号 004505
 お忘れ物のお問い合わせは
 日個連東京都営業協同組合
 城東支部
 平日9~17時の受付 03-5875-2940
 上記時間外の受付
 お忘れ物センター 03-5876-9166

領収書等添付用紙

(単位:円)

支出項目	☒ 調査研究費 ☐ 研修費 ☐ 広報・広聴費 ☐ 要請・陳情活動費 ☐ 会議費 ☐ 資料作成・購入費 ☐ 人件費・事務所費
支出内容	調査研究(令和7年2月13日~14日 福島県庁、東京都衆議院第一議員会館)に係るタクシー代
支出月日	令和7年2月14日
支出額	425円(タクシー代3,400円の8分の1相当)

領 収 書

日付 2025年02月14日
車番 1416
基本運賃 ¥1200-
△ 計 ¥1200-
(内消費税等 ¥109-)
----- 内訳 -----
クレジット支払 ¥1200-

登録番号: T1010901032448
kmグループ 国際自動車㈱ 世田谷営業所
東京都世田谷区板橋町2-10-12 ガレリアB201
忘れ物、領収書問合せ 03-3429-5396
お客さま相談室 0120-717-039

km呼ぶなら
「S.RIDE」
ダウンロード用QRコード



<ナビコード>
A44-4754-0252
(営業回数4786)

領 収 書

No.6617

日付 2025年02月14日
車番 5564
運賃 ¥1100-
△ 計 ¥1100-
消費税率 10%
上記の通り領収致しました

登録番号: T1010801001401

毎度ご乗車ありがとうございます
DAIWA TAXI GROUP
盈進自動車株式会社
東京都大田区東糀谷1-5-18
03(3744)8881

タクシーのご利用は無縁配車センターへ
03(3563)5151

領 収 書

現・チ・ク・割引 No.2523
日付 '25年02月14日
車番 170780 000
基本運賃 ¥1100円
運賃料金計 ¥1100円
通行料他計 ¥0円
△ 計 ¥1100円
上記の通り領収致しました
消費税 10%

毎度ご乗車ありがとうございます
お忘れ物・お気付きの点は当社へ
株式会社東京自動車
登録番号T4010801016371
東京都大田区東糀谷2-4-21
TEL 03-6276-0144

領収書等添付用紙

(単位:円)

支出項目	☒ 調査研究費	☐ 会議費
	☐ 研修費	☐ 資料作成・購入費
	☐ 広報・広聴費	☐ 人件費・事務所費
	☐ 要請・陳情活動費	
支出内容	調査研究(令和7年2月13日～14日 福島県庁、東京都衆議院第一議員会館)に係る駐車場代	
支出月日	令和7年2月14日	
支出額	388円(駐車場代3,500円の9分の1相当)	



外来駐車場使用料
福島県

リパーク福島駅西口立体駐車場
ご利用ありがとうございました。
またのご利用をお待ちしております。
<http://www.repark.jp>

リパーク福島駅西口立体駐車場
ご利用ありがとうございました。
またのご利用をお待ちしております。
<http://www.repark.jp>

領収書

領収書

精算機 #01 A 精算No.000497
入庫時刻 2025年 2月13日(木) 12:18
出庫時刻 2025年 2月14日(金) 16:42
駐車料金 A料金 1,400円
=====

合 計 1,400円
現金入金額 2,000円
釣銭 600円
現金領収金額 1,400円

合計は消費税率10%対象です
三井不動産リアルティ株式会社
登録番号 T8010001140514

領収書

精算機 #01 A 精算No.000496
入庫時刻 2025年 2月13日(木) 12:18
出庫時刻 2025年 2月14日(金) 16:41
駐車料金 A料金 1,400円
=====

合 計 1,400円
現金入金額 2,000円
釣銭 600円
現金領収金額 1,400円

合計は消費税率10%対象です
三井不動産リアルティ株式会社
登録番号 T8010001140514

精算機 #01 A 精算No.000184
発券機 #01 発券No.064279
入庫時刻 2025年 2月13日(木) 08:53
出庫時刻 2025年 2月13日(木) 12:11
駐車時間 3:18
駐車料金 A料金 700円
=====

合 計 700円
(内税10%対象額 700円)
現金領収額 700円
お預り 1,000円
お釣り 300円
またのご利用をお待ちしております。

登録番号 T7000020070009
福島県

政務活動費 令和6年度旅費領収明細表

無会派（公明党南相馬市議団）志賀 稔宗（単位 円）

支出内容		令和7年3月17日～18日（研修視察先：JAXA 能代ロケット実験場（秋田県能代市））					
氏名	旅費内訳		その他	合計	受領印	摘要	領収書No.等
	運賃等	宿泊料					
志賀 稔宗	24,880	13,300		38,180		①JR運賃 （原ノ町駅⇒仙台駅⇒ 秋田駅⇒東能代駅） 12,440円×2（往復分） ②宿泊料（秋田市内： 乙地方）13,300円×1泊 ⇒②宿泊料は、南相馬 市職員等の旅費に関する 条例・規則に基づき 定額支給	—
（タクシー）			6,330	6,330		領収書添付	
計	24,880	13,300	6,330	44,510			

領収書等添付用紙

(単位:円)

支出項目	☒ 調査研究費 ☐ 研修費 ☐ 広報・広聴費 ☐ 要請・陳情活動費 ☐ 会議費 ☐ 資料作成・購入費 ☐ 人件費・事務所費
支出内容	調査研究(秋田県能代市【JAXAロケット実験場】)に係るタクシー代
支出月日	令和7年3月17日
支出額	6,330円

領 収 書

2025 年 03 月 17 日 -011
メーター運賃 ¥3,660 円
合計 ¥3,660円
(税率10%)
登録番号 T7410003001682
現金支払 ¥3,660 円
車両番号 0922
毎度ご乗車ありがとうございます。

(資) 第一タクシー
秋田県能代市乃町6-32
TEL 0185(52)2211

領 収 証

No.8140
日付 2025年 03月 17日 15:58
車番 0812 0000
基本運賃 ¥2,670円
合計 ¥2,670円
上記の様に領収致しました
毎度ご乗車ありがとうございます
消費税率 10%
みんなの愛車
秋北タクシー株式会社
登録番号 T74100001005964
秋田県能代市浜通り町3-10
電話 0185 52 1111

領収書等添付用紙

(単位:円)

支出項目	☐ 調査研究費	☐ 会議費
	☐ 研修費	☐ 資料作成・購入費
	☒ 広報・広聴費	☐ 人件費・事務所費
	☐ 要請・陳情活動費	
支出内容	広報費(議会報告印刷代)	
支出月日	令和6年5月8日	
支出額	19,400円	

領収証		No.							
金額 <table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <tr> <td>百万</td> <td></td> <td></td> <td>千</td> <td></td> <td></td> <td>円</td> </tr> </table>		百万			千			円	様
百万			千			円			
但し		印 紙							
現金	小切手	手形							
税金金額(8%)	消費税額(8%)	税金金額(10%)							
消費税額(10%)									
令和 年 月 日 上記金額正に領収致しました。		 有限会社 双葉クリエイト 代表取締役 枡久保 宗 〒975-0011 福島県南相馬市原町区西町一丁目38番地 TEL 0244-26-9780 FAX 0244-26-9781 登録番号 T1380002029577							

領収書等添付用紙

(単位:円)

支出項目	☐ 調査研究費	☐ 会議費
	☐ 研修費	☐ 資料作成・購入費
	☒ 広報・広聴費	☐ 人件費・事務所費
	☐ 要請・陳情活動費	
支出内容	広報費(議会報告印刷代)	
支出月日	令和6年12月4日	
支出額	22,000円	

領収証 志賀 稔宗 様 No. _____

金額

722000-

但 印刷代・折込代として

令和6年12月4日 上記正に領収いたしました

内 訳

税抜金額

消費税額(%)

株式会社 賛美

代表取締役 大場 裕

TEL:0244-32-049

FAX:0244-32-049

E-mail:sanbi-inc.2016@outlook.jp



領収証 No.4

※ 合同での議会報告
発行であるため
3分の1相当の費用
負担となる

領収書等添付用紙

(単位:円)

支出項目	☐ 調査研究費 ☐ 研修費 ☐ 広報・広聴費 ☐ 要請・陳情活動費 ☐ 会議費 ☒ 資料作成・購入費 ☐ 人件費・事務所費
支出内容	資料購入費(住宅地図)
支出月日	令和6年5月7日
支出額	20,900円

領 収 書

2024年 5月 7日

No. 01-L000275959-R000003590

志賀 稔宗 様

金額 ￥20,900-

但住宅地図代として
(内消費税額 ￥1,900円含む)
上記正に領収いたしました。

()

0001

文芸堂書店 桜井町店
975-0032 福島県南相馬市原町区桜井町1丁目123
電話 0244-24-4711

領収書明細

2024/05/07(火) 13:09
No. 01-L000275959 扱:0001
009:978-4-432-50343-8
地図・ガイド
@20900 1点 ￥20,900
合計商品点数 1点
合計 ￥20,900
(消費税額) ￥1,900
課税対象額 ￥19,000
税額 10.00% ￥1,900
お預り ￥21,000
お釣り ￥100
文芸堂書店 桜井町店
登録番号: T5380002029061

南相馬
市議会友和会・尚友会・公明党
合同会報

— 安全・安心で活力あるまちづくり —

令和6年5月12日発行

ごあいさつ

東日本大震災と原発事故から14年目となりましたが、復興は未だ道半ばです。

第2期復興・創生期間は令和8年3月末で終了することから、それ以降の財源をどう確保していくかが課題となっています。

合同会派議員11人は、震災が関や県に赴いての勉強会、さらに先進地行政視察などを行い、日々研鑽を重ねています。これからも、広く市民の皆様のご意見を拝聴しながら精力的に議員活動を行う所存です。

風薫る5月、どうぞお健やかに過ごしてください。

尚友会会長 太田 淳一



中学生海外研修事業

中学生海外研修事業は、広い視野を持った生徒の育成や、学習意欲の向上、思考力、判断力・表現力の向上を図り、未来を担う人材を育成するために、令和元年度より実施している事業です。

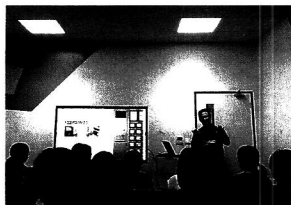
参加した生徒の報告会などでは、語学力や視野が広がったなどの意見が多くあり高評価でした。

本年度も、中学2年生を対象にオーストラリア（4泊6日20人）と、シンガポール（3泊5日25人）で実施されます。

予算額は1,953万円です。



中学生の海外研修（シンガポール）



大岩 常男 記

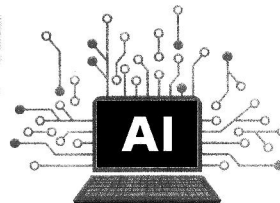
自治体デジタル・トランスフォーメーション (DX)

自治体デジタル・トランスフォーメーション (DX) は、デジタル技術やAI等の活用、業務フローの見直しなどを推進し、行政事務の効率化を図り、更なる行政サービスの向上を目指すものです。本市でも積極的に導入し、利便性向上や事務効率化に取り組んでいます。

具体的には、「書かない窓口申請」やパソコンで行っている事務作業を自動化する「RPA」、AI技術を活用した最先端の光学文字認識技術「AI-OCR」などに取り組んでいます。



利便性の向上が図られた市民課窓口



山田 雅彦 記

浸水・防災対策

毎年、様々な災害に悩まされている私たちの生活ですが、昨年9月は台風13号が上陸し、南相馬市でも河川の決壊や内水氾濫が発生しました。つい半月前までは水不足で水田の渇水対策が行われている最中でしたが、自然の流れは予測が付きません。

当時は夕方に避難指示の発令があり、市内で一次避難所が開設されました。しかし、避難所を利用した市民はごくわずかでした。令和元年の台風19号上陸の際には、市内の太田川、水無川が決壊し、大きな被害を被りました。災害対策は、自助・共助・公助が大原則と言われております。幸いにも、台風13号は予想よりも早く通り過ぎていきましたが、いわき市では大きな被害が発生しております。市民の要請に応じて随時、防災のための出前講座や講演会が行われております。今年はどのような一年になるか予想はつきませんが、ハザードマップを再確認し、命を守る行動をとってください。



田中 一正 記

市内で病児保育が始まります

南相馬市立総合病院に勤務していた小児科医の山下匠医師が、6月に「はらまちスマイルクリニック（診療科目：小児科、アレルギー科、内科）」を原町区日の出町に開院しますが、そこで病児保育も行うことになりました。

病児保育の利用定員は、1日3名を予定しています。詳細については、同クリニックのホームページをご覧ください。

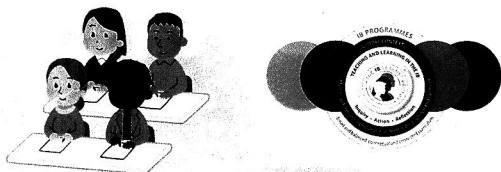
市では、病児保育を実施する事業者に対し、病児保育事業の実施に係る実費用として2,042万円を交付し、事業支援を行います。



太田 淳一 記

国際バカロレア教育研究事業

国際バカロレア教育とは、世界中どこにいても同水準の教育を受けることができ、必要条件を満たせば世界各国の大学への入学資格を得られる学習プログラムです。グローバル化や技術革新が急速に進展する社会の中で、本市の子どもたちが未来社会を生き抜くための資質・能力を育成するとともに、教育の質の向上を図るため、国際バカロレア教育の導入を視野に入れた研究を行います。



外国語教育推進事業

本事業は、市内公立幼稚園・保育園等での英語発音あそびの実施、市内小学校に多読用英語図書の購入・フォニックス学習の拡充、市内小中学校に10人の外国語指導助手の配置するなど、継続的な教育を通じて、本市の子どもたちの英語によるコミュニケーション能力の向上を目指すものです。

また、中学生の全員を対象とした実用英語技能検定受験料の支援も行います。



大場 裕朗 記

フロンティアパーク整備事業

小高区における居住人口を増加させ、地域経済を活性化させるため、小高復興産業団地（フロンティアパーク）を整備します。

令和6年度は、地盤改良工事、造成工事（7年度まで継続。総面積12.8ha）、物件移転補償費（東北電力、NTT等）等で、予算額は14億13万5千円。

なお、供用できる用地面積は、3区画7haを予定しております



飯崎産業団地整備事業

小高区の居住人口は、震災前の約3割に留まっている状況にあります。本市のさらなる復興を遂げるため、また小高区における居住人口を増加させる取組みや、市内工業団地の空き区画が僅かであることを踏まえ、企業誘致等を通じた帰還移住を促進するため、令和5年度に旧金房小学校校舎を解体し、飯崎産業団地約3.3haの整備を行いました。令和6年度は、団地における草刈等の維持管理業務を実施する予定です。



志賀 稔宗 記

南相馬市鹿島サービスエリア周辺開発検討事業

当サービスエリアには、年間100万人を超える利用者がおり、本年3月3日には1千万人目を達成、門馬市長より記念品が贈呈されました。

本事業では、セデッテかしまが有する可能性を最大限生かすことが期待され、令和6年度は、サービスエリアのポテンシャルを最大限に活かすための基本計画策定に向けた検討会を開催します。

スキット千倉高齢者利用促進事業

このトレーニングセンターは、健康づくりに取り組む人を増やし、健全な心身の維持保全と健康長寿を目指し、令和3年4月18日にオープンしました。トレーナー付きということもあり、これまでは大人1回券が500円となっていたのですが、特に高齢者の利用促進を図るために、市内に住む60歳以上の利用料金を1回券200円（利用料金の一部300円は市で負担）とするものです。



スキット千倉で健康増進を！

真野川親水サイクリングロード

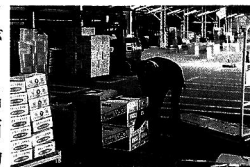
鹿島区の特徴あるまちづくり推進事業で整備された真野川親水サイクリングロード。セデッテかしまから牛島地区（烏崎海岸）までのルートとなっております。

是非、四季折々の自然をお楽しみ下さい。

細田 廣 記

園芸作物集出荷団地整備事業

園芸作物集出荷団地（原町区上高平）は、令和8年度供用開始予定で事業を進めております。約1.9haの敷地に集出荷貯蔵施設、卸売市場、農産物加工施設を整備します。集出荷貯蔵施設いわゆる野菜集出荷場には、プロックリー、ネギ、花卉の選果ラインを整備します。これにより、生産者は出荷調整作業を委託でき、出荷調整の省力化が図られ、労働力を生産に向けることができます。園芸作物集出荷団地整備により、農業者・消費者の距離を縮め、市内農産物の販路拡大が期待されます。



現在の市場の様子

みらい農業学校開校

4月11日小高区鳩原（旧鳩原幼稚園）に「みらい農業学校」が開校しました。

みらい農業学校は、農業の知識や技術を習得し、南相馬市に移住を伴う農業人材の確保を目的に設立しました。雇用就農に必要なスキルを1年間で身に付け、実践力とキャリアアップに繋がる学びをカリキュラムとし、農業に係る各種免許や資格取得、市内農業法人等で研修を実施します。第1期生となる令和6年度は、15名が入学しました。平均年齢は37.7歳。男性11名・女性4名で、市内在住3名・県外から移住6名・県内から移住6名となっております。みらい農業学校に入学した方々には、南相馬市農業の担い手となることを期待します。



みらい農業学校開所式

菊地 洋一 記

南相馬市議会

令和6年9月定例会「一般質問」報告

今年8月6日、かしま交流センターにて南相馬市議会会派、友和会・尚友会・公明党の有志11人と鹿島商工会青年部・農業団体ASK・鹿島中学校PTA・かしま保育園保護者会の12人による懇談会を開催し、鹿島区の現状と課題について主に以下の項目のご意見・ご要望を伺いました。

- ・鹿島駅舎と駅周辺について
- ・セデッテかしまの周辺開発について
- ・岩妻茂手線の今後について
- ・真野川親水サイクリングロードの利活用について
- ・スキット千倉の利活用について
- ・旧八沢小学校跡地の利用について
- ・上真野小学校、鹿島区内小中学校の今後の在り方について



南相馬市議会議員
(友和会)

大場 裕朗

令和6年9月定例会
一般質問動画



鹿島区・原町区・小高区の垣根を越えた1つの南相馬市、差別感・不公平感を感じることがない「より良い鹿島区」を築くために、これからも鹿島区の皆様の声にも耳を傾け、そのご意見をしっかりと市政へ届けて参ります。

ご意見・ご要望を踏まえ鹿島区について以下の3項目17回の質問・提案をしました。

「JR鹿島駅舎と駅周辺整備」について

駅舎については開業以来126年に渡り鹿島区の顔として親しまれており、市としても耐震診断・改修計画があるようだが、駅前ロータリー・駐車場・街路灯等の他、子どもの居場所作りとして図書・自習室の整備を求める声があるが見解を伺う。

答 可能であれば現駅舎を保存した上で利用状態を調査し、多くの方からご意見をいただき、駅周辺エリアの振興・利便性の確保・安心安全のための対策、また駅前ロータリー・駐車場の整備についても検討していく。

「セデッテかしま」周辺開発事業について

平成27年の開業以来、年間100万人を超える来場者による、鹿島区をはじめ本市

全域への経済波及効果について、また本市PRの在り方について見解を伺う。

答 現在、農業・漁業・商工業者等に計画策定検討委員会への参画をお願いしている。ナショナルチェーン誘致、馬事文化のPR等、官民連携手法の導入可能性を含め検討していく。

「親水サイクリングロード」の整備・維持管理について

危険箇所への対応、草刈り等の維持管理、トイレ・ベンチ・イベント駐車場・防犯灯・距離表示板等の整備など多くの意見が寄せられているが、今後の整備計画について伺う。

答 草刈りは令和6年度から河川愛護など10団体においてお願いしている。危険箇所への注意喚起看板・路面標示の整備を進める。トイレ・ベンチ等の必要性についても調査検討する。

その他の質問

若者をはじめとした、人が集い賑わう南相馬について

・南相馬市のPRについて

・相馬野馬追開催期間の各行事のPRについて

・本市における夏祭りについて

・通年観光について

・泉・北泉周辺整備、利活用計画について



南相馬市議会議員
(友和会)

菊地 洋一

令和6年9月定例会
一般質問動画



懇談会では様々な意見が出されました。このことを踏まえ、私は岩妻茂手線と学校問題を議会において一般質問をしました。その中から岩妻茂手線について報告します。

「岩妻茂手線」について

問 岩妻茂手線の整備見送り方針決定は遅いのではないかとという声がある。市の見解を伺う。

答 合併当初、中期計画として平成21年度以降の着手を見込んだが、東日本大震災の復興・復興事業を優先的に進めた。約10年が経過し、事業化判断の調査を実施した。結果、概算事業費が61・5億円になることが判明した。平成19年度では概算事業費を14億円と試算し、当時の想定より大きな事業費がかかることから、令和5年度に事業着手を見送る方針を決定した。

問 海老街道踏切が朝夕の通勤通学で、一番混んでいる。踏切と道路を拡幅する必要性について見解を伺う。

答 海老街道踏切付近は、特に朝の時間帯に車両が集中し、混雑が発生している状況を市も確認している。

問 一方、鹿島区には、海老街道踏切以外にも道路に関する課題が多く存在している。これら問題解決に向けた対策を検討するため、今年度、鹿島区市街地道路ネットワーク検討会を立ち上げた。検討会では、各分野の委員と意見交換を行い鹿島区市街地の道路に関する課題を明らかにし、その結果を今後の道路施策に反映させる考えである。

答 道路整備事業化に当たっては、地域住民のニーズを把握し、合意を得ながら進めることが重要だと認識している。検討会を踏まえ、区長会や地域協議会などを通して多くの人々の理解を得られるように進めて行く。

問 進めるに当たり、鹿島区民の大半を占めるコンセンサスが必要と考える。市の見解を伺う。

答 道路整備事業化に当たっては、地域住民のニーズを把握し、合意を得ながら進めることが重要だと認識している。検討会を踏まえ、区長会や地域協議会などを通して多くの人々の理解を得られるように進めて行く。



南相馬市議会議員
(公明党)

志賀 稔宗

令和6年9月定例会
一般質問動画



鹿島区の代表の皆さんとの懇談会で出された意見を議会で取り上げました。今後もしっかりと意見を市政に反映できるように努力して参ります。

「スキット千倉」の 利活用について

問 スキット千倉は、「市民の健康増進、体力の維持向上を図り、もって市民の健全な心身の維持保全による健康長寿により、地域住民の交流と一体感の醸成に寄与する」ことを目指し、各世代や個々人のニーズに応じた、健康づくりや体力向上のためのメニューが実践できる環境及び多くの市民が気軽に利用できる施設として、令和3年度に鹿島区北千倉に整備された市の施設です。

利用する市民の皆さんからは大変好評をいただいております。ほぼ目いっぱい利用されております。高評価の背景は、21台のトレーニングマシンの性能と、指導員のアドバイスにより、体力向上効果が目に見えて実感できることにあります。本人の努力はもとより、いくつもの資格を有した専門知識・技術を身につけた指導員の指導力に負うところが極めて大きいと見ています。今後、更に効果を周知し事業の発展を図るべきと考えます。

一方、人気のある施設ゆえに混んでいて利用できないとのご意見がありました。施設の利用状況と今後の取組みについて伺う。

答 スキット千倉は利用料金の減額効果もあり、74.5%の利用率です。特定の機器においては、若干の待ち時間を要することもあります。スタッフの丁寧な声掛け、空いている機器への適切な誘導により利用者からの不満の声も聞かれずスムーズにご利用いただいております。

「千倉グラウンド」の 利活用について

問 千倉グラウンドは夜間照明が整備され、野球等ができる約1万7千㎡のグラウンドです。子ども野球クラブが遅くまで一生懸命練習する姿をよく見かけます。またグラウンドゴルフ等、市民に身近に親しまれている運動施設です。サブグラウンドの整備や、仮設トイレの改修、また近隣に子どもが遊べる空間があるとなお良いとの意見がありますが見解を伺う。

答 サブグラウンドの整備予定はありません。トイレは、近くのスキット千倉・千倉体育館・わんぱく広場の常設トイレを利用して欲しいと思います。今後改めて利用団体等の確認しながら新しいトイレの必要性について協議して参ります。

南相馬市9月定例会・議案第77号（令和5年度 一般会計歳入歳出決算認定について）

本市における普通建設事業の執行状況及び今後の見込み（令和5年度決算）						（単位：億円）		
		新市建設計画 の総事業費 ①	実績	市全体に 占める割合 区／市全体	見込 (推計ベース) R6～R12	合 計 ②	施行率 ②／①	市全体に 占める割合 区／市全体
			H17～R5					
小 高 区	普通建設事業 計		343.3	19%	120.7	464.0		20%
	うち通常事業	約 110 億円	116.5	18%	58.5	175.0	159%	19%
	合併特例債充当額		22.9	15%	15.0	37.9		16%
	うち震災関連事業		226.8	19%	82.1	308.9		22%
鹿 島 区	普通建設事業 計		391.9	21%	68.0	459.9		19%
	うち通常事業	約 110 億円	116.5	18%	58.5	175.0	159%	19%
	合併特例債充当額		26.5	17%	17.6	44.1		18%
	うち震災関連事業		275.4	23%	28.2	303.6		21%
原 町 区	普通建設事業 計		1,090.9	60%	345.3	1,436.2		61%
	うち通常事業	約 330 億円	404.4	64%	175.4	579.8	176%	62%
	合併特例債充当額		106.4	68%	50.2	156.6		66%
	うち震災関連事業		686.5	58%	131.3	817.8		57%
市 全 体	普通建設事業 計		1,826.1	100%	534.0	2,360.1		100%
	うち通常事業	約 550 億円	637.4	100%	292.4	929.8	169%	100%
	合併特例債充当額		155.8	100%	82.8	238.6		100%
	うち震災関連事業		1,188.7	100%	241.6	1,430.3		100%

南相馬市9月定例会・議案第89号（令和6年度 一般会計補正予算について）

地域復興一般経費（鹿島区） 補正額 2,467 千円

「事業内容」 鹿島区の特徴あるまちづくりを推進するため、地域復興事業を実施する。

「補正理由」 JR鹿島駅は、明治31年の開業から今年で126年を迎える。この間、東日本大震災をはじめ複数回の大規模地震被害を受けており、JR東日本では鉄道利用者の安全を確保するため、現在の駅舎を取り壊し、コンパクトな駅舎への建て替えを計画している。

一方、鹿島駅は鹿島区内で唯一の駅であり、地元住民の愛着も大きいことから、市による現駅舎の保存活用を含めた検討を行うにあたり、現駅舎の現状確認のための事前調査を行い、その結果を踏まえ、令和6年度中に市の整備方針を決定する予定であることから、必要な予算を計上するもの。

「主な経費」 委託料：鹿島駅駅舎改修事前調査業務委託（耐震診断、耐震改修計画の作成、石綿含有調査）

（仮称）鹿島多目的グラウンド整備事業 補正額 2,563 千円

「事業内容」 みちのく鹿島球場の更なる有効活用として、圍場整備事業に併せて、非農用地を確保したことから、ウォーミングアップ会場や駐車場用地の整備に加え、野球、ソフトボール、グラウンドゴルフ等、多目的に利用できるグラウンドを整備する。

「補正理由」 サブグラウンドの整備にあたり、施設利用者の利便性を図ることに加え、令和6年4月25日、5月23日に開催したスポーツ団体などの関係者による意見交換会においてトイレ設置に係る要望があったことから、トイレ建築にかかる設計費について、必要な予算を計上するもの。

「主な経費」 委託料：トイレ建築設計業務委託料

公明党

東日本大震災復興加速化本部長

赤羽 一 嘉 様

要 望 書

令和6年8月2日

福島県南相馬市議会

公明党南相馬市議団 代表 志賀稔宗

東日本大震災及び東京電力福島第一原子力発電所事故の発生から
13年4か月が経過し、この間、当市では総力を挙げて、この未曾
有の災害からの復旧・復興に向け、取り組んできました。

その結果、インフラの復旧や居住環境等の整備は概ね完了し、働
く場の確保や子育て環境の充実等の取組について、一定の成果が見
られるようになりました。

しかし、当市には、未だに多くの課題が山積しています。小高区
では、震災前と比較し、生産年齢人口が約8割、将来を支える年少
人口に至っては約9割が減少しました。また、当該地域の主要農産
物である水稻については、震災前の作付け面積のうち約6割が未耕
作の状況です。加えて、原発事故に起因する急激な人口減少によ
り、当市が存続していくための新たな課題に直面しています。

こうした中、令和6年3月19日に『第2期復興・創生期間』以降
における東日本大震災からの復興の基本方針の変更について」が閣議
決定され、原子力災害被災地域においては、『第2期復興・創生期
間』以降も引き続き国が前面に立って取り組むこと、復興のステー
ジが進むにつれて生じる新たな課題やニーズにきめ細かく対応するこ
としております。

このことから、『第2期復興・創生期間』後においても、被災地の
復興が停滞することのないよう、新たな課題への対応も含め、引き続
き国が責任を持って、しっかりと支援いただきますよう下記のとおり
要望いたします。

記

1 『第2期復興・創生期間』後の復興の体制及び財源の確保について

第2期復興・創生期間後においても切れ目なく、安心感を持って復興を進めることができるよう、十分な組織体制の継続、現行と同様の枠組による継続的かつ安定的な財源の確保、復興の状況に応じた柔軟な支援制度の創設を図るとともに、今後、新たに顕在化する課題に対して、引き続き国が前面に立って取り組むこと。

2 企業誘致等における支援制度の継続について

震災と原発事故により失われた当市の産業において、工場等の新増設を支援し企業立地を促進することにより「働く場」を確保することで、雇用の創出及び産業集積やなりわいの再建を図り、自立・帰還等を加速させるための「自立・帰還支援雇用創出企業立地補助金」、「被災事業者自立支援事業費補助金」、さらに新産業の創出やスタートアップ企業の支援に資する「地域復興実用化開発等促進事業費補助金」については、『第2期復興・創生期間』後も制度の存続とともに、同様の支援内容を継続すること。

3 農業に係る復興支援の継続について

震災及び原発事故以降、当市では農業分野における担い手の減少や高齢化が急速に進行しているなど、営農再開に向けた取組や新たな担い手の確保が喫緊の課題となっている。

このことから、復興の枠組みにおいて、畦畔除去や暗渠排水整備等の簡易な基盤整備など営農再開に向けた支援や、担い手を確保・育成するための研修施設に対する新たな支援制度を創設すること。

さらに、原子力被災地域全体における園芸作物・畑作物の振興がより一層図られるよう、一大産地化やブランド化などの推進を図るとともに、事業構築に当たっての財政支援を行うこと。

4 福島イノベーション・コースト構想の推進について

当市では、自立的・持続的な産業発展の実現を目指す福島イノベーション・コースト構想の下、産学官連携により、地元企業による新たな事業展開や取引拡大、地域外からの企業・人材等の誘導、人材育成や交流人口の拡大等に向けた取組みを進めている。

ロボット・ドローン、航空宇宙など重点6分野に取組む地元企業の活動を引き続き支援するとともに、広域的なネットワーク構築に向けた各種支援策を講ずること。新産業の創出等にチャレンジするベンチャービジネス、スタートアップ企業等を浜通り地域に一層呼び込むため「インキュベーション施設の整備」や「スタートアップ支援の拡充」に取組む自治体に対して財政支援を行うこと。

また、地域教育水準の向上とグローバルな人材の育成、新たな農業の担い手育成など、福島イノベーション・コースト構想を担う地域人材の育成に係る取組みへの支援策を講ずること。

5 復興のステージに応じた新たな課題対応への支援について

当市では、全市を挙げて、これまで住民帰還や移住・定住の促進等により震災前の暮らしを取り戻す努力を絶え間なく続けてきたが、特に年少人口や生産年齢人口の回復は依然として厳しい状況にある。

このため、これらの取組を継続する一方で、急激な人口減少への対応という長期的な課題解決に向け、現在、地域コミュニティの維持や教育施設（小学校、給食センター等）の統廃合など、現実を見据えた対応に迫られている。

このことから、当市の復旧・復興状況に応じた行政サービスや公共施設の再構築など、より良い地域の再生のための取組へ財政支援を行うこと。

また、当市では二次救急医療機関が4病院あるものの、震災以降、医師・看護師など、慢性的な医療従事者の不足により、実質的には2病院のみの対応に頼らざるを得ない状況にあり、未だに震災前の医療提供体制の回復まで至っていない。

さらに、原子力事故による医師数の減少や医師の高齢化に伴い、夜間における一次救急医療体制確保が困難であり、その結果、夜間における二次救急医療機関への負担が増大している。

このことから、夜間における二次救急医療機関への負担軽減を図るとともに、より強固な一次救急医療体制を確立するため、一次救急医療施設の再構築とともに、継続的な運営に関する財政支援など、新たな支援制度を創設すること。